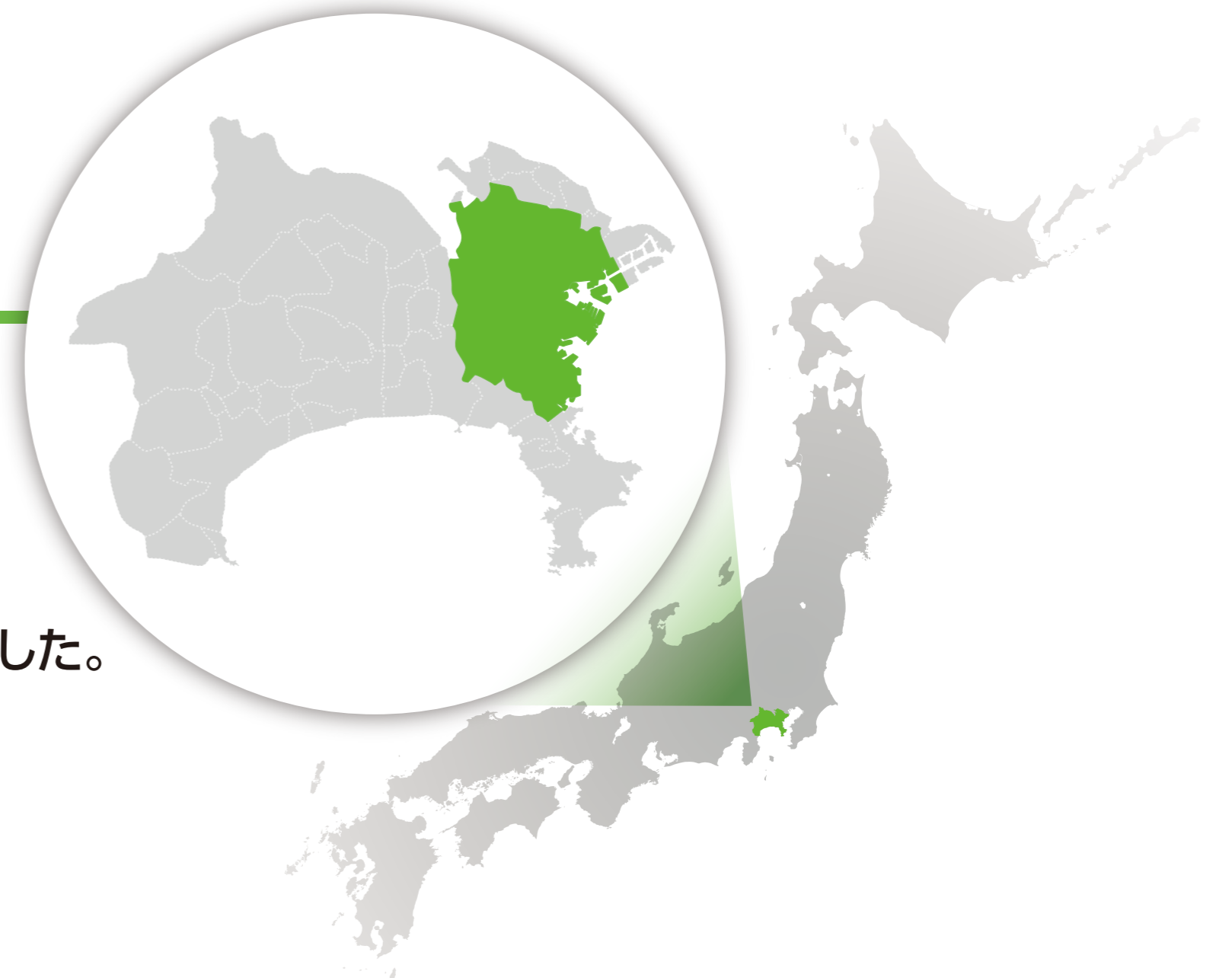


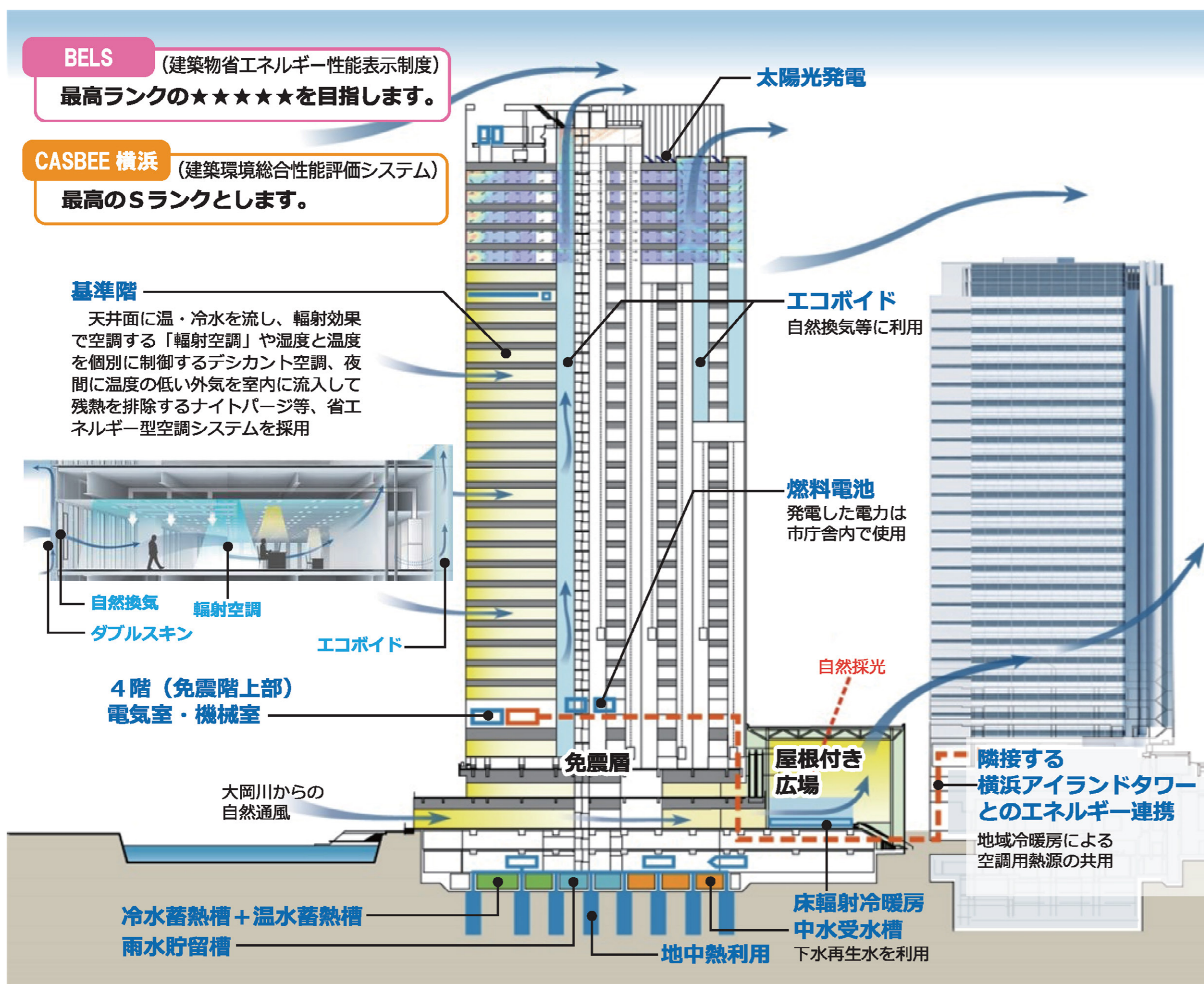
## 1 横浜市の概要

横浜市は、日本の首都・東京の西南約30kmに位置し、人口371万人(2015年3月31日現在)の日本第2の都市です。市の主な産業はサービス業、不動産業、卸売・小売業、製造業などです。日本の近代化の黎明期において、横浜は世界からのゲートウェイとして発展しました。今日においても横浜港の貿易高は日本トップクラスです。



## 2 新庁舎の概要

横浜市は環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家戦略プロジェクトのひとつである「環境未来都市」に選定されました。環境未来都市ヨコハマにふさわしい建物とするため、高い断熱性能を有する外壁の採用や高層部での外気導入による空調熱負荷の削減に加え、空調・照明などにおける高効率機器の採用や自然通風・太陽光発電など自然エネルギーを最大限利用することにより、最高ランクの省エネルギー性能と快適性を両立した低炭素型の市庁舎を目指します。



発注方式	設計・施工一括方式
工期	平成28年2月 契約 平成29年8月 着工 平成32年春 竣工予定

## 3 建設計画策定時の課題

新市庁舎整備基本構想に「環境に最大限配慮した低炭素型の市庁舎」を理念の一つとして掲げ、基本構想、基本計画の段階から意見募集にて市民の皆様からご意見を伺いながら事業着手の妥当性を評価してきました。理念を実現すべく、総合評価落札方式で事業者を決定する際に、「効果的で先進的な環境技術の提案」を技術提案として求め、高い省エネ性能や低炭素化の実現に向けた環境未来都市ヨコハマにふさわしいご提案をいただきました。

### 問い合わせ先

横浜市建築局公共建築部施設整備課  
新市庁舎整備担当

Tel: 045-633-3913  
E-mail: kc-shisetsu@city.yokohama.jp  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/>

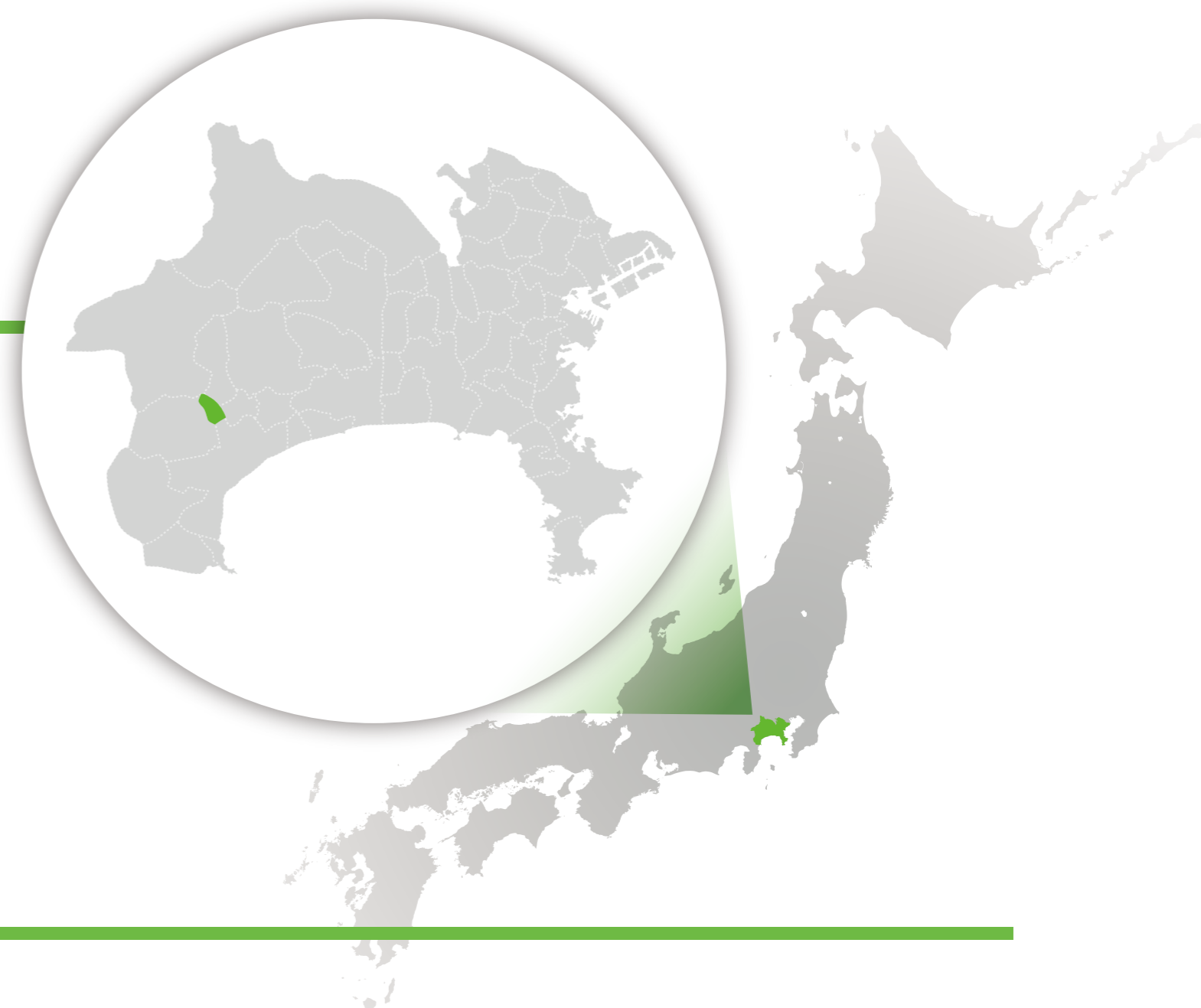




# 開成町庁舎 ZEB化に向けた取組

## 1 開成町の概要

- 東西1.7km、南北3.8km、総面積6.55km<sup>2</sup>と神奈川県内で面積が一番小さな町
- 神奈川県西部の足柄上地区中央部に位置
- 東京から70km圏内、横浜からも50kmの位置
- 酒匂川、箱根外輪山や丹沢山塊に囲まれた地下水が豊富で、緑豊かな自然に恵まれたなだらかな平坦地

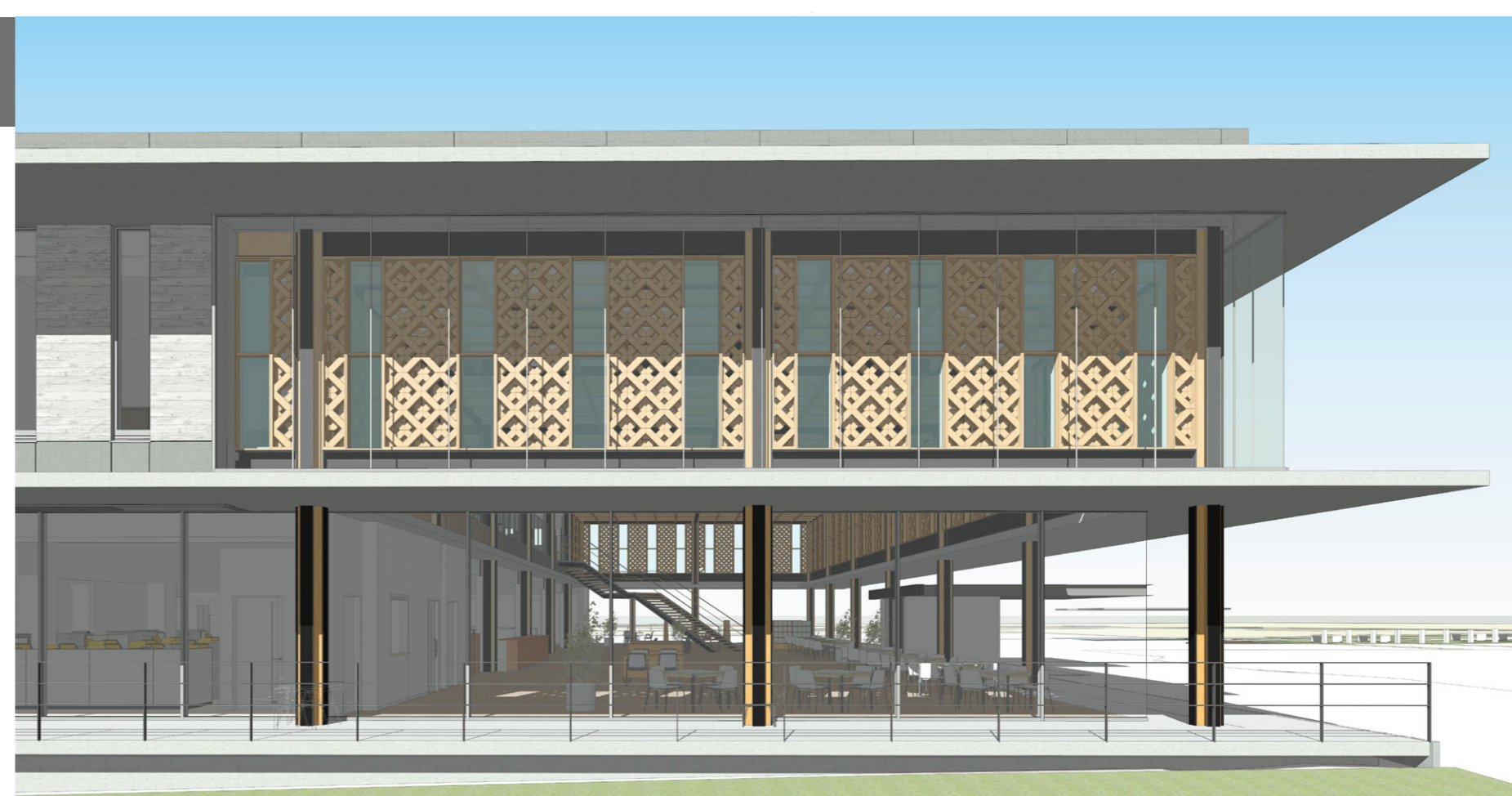


## 2 新庁舎の概要

### 設計のコンセプト

開成町らしい庁舎として、自然環境を効率的に活用したZEB庁舎

- ① 水に恵まれた環境を生かし、井水熱等を利用した省エネ空調システム
- ② 自然採光と連動した調光及びタスクアンビエント照明システム
- ③ 日射遮蔽としての大庇、ピロティ構造
- ④ 建物構造、開口部日射抑制に寄与する木による「あじさいパネル」の設置



### 設計、工事のタイムスケジュール

#### 実施設計

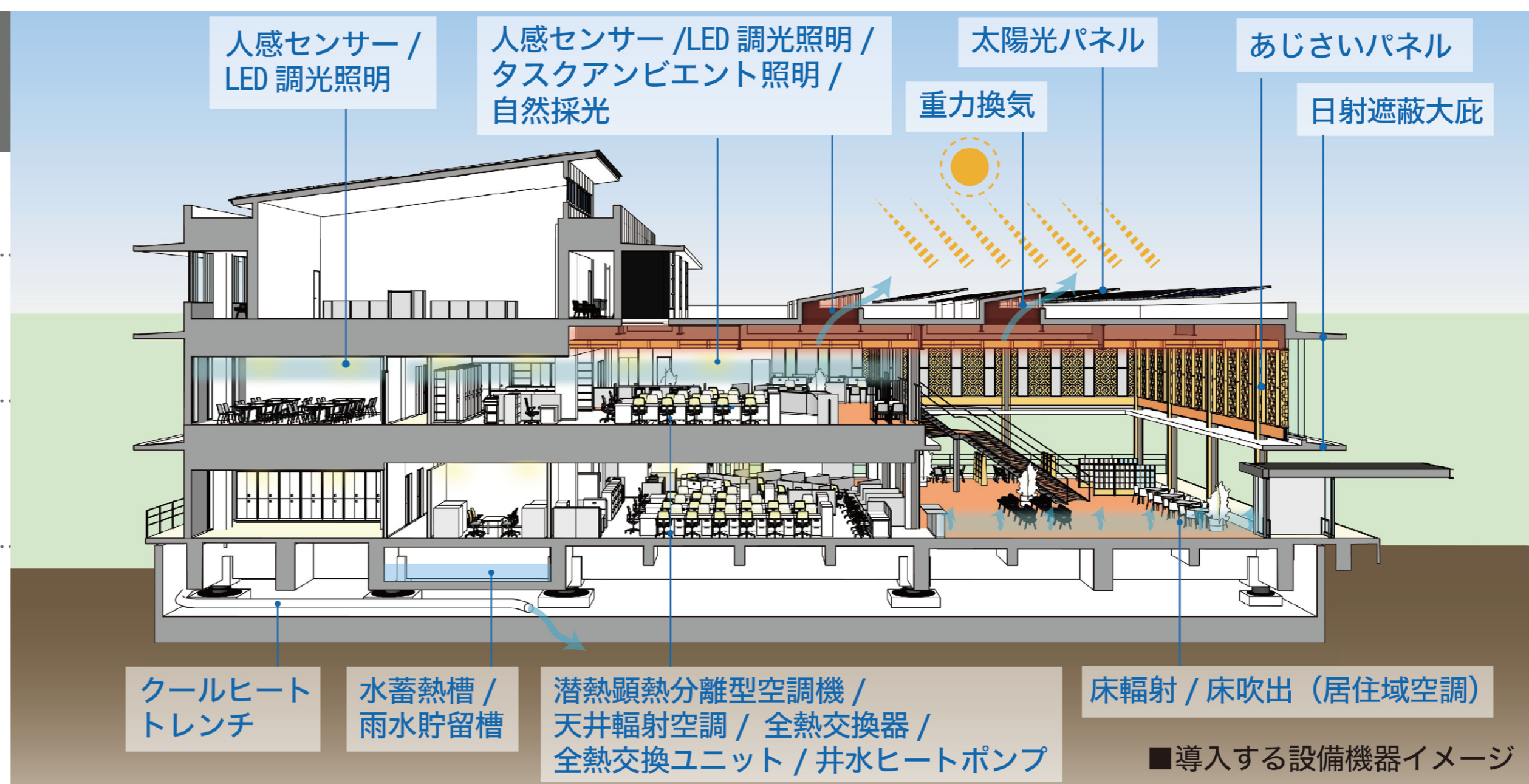
H29年1月～H30年3月

#### 工事着工

H30年7月

#### 竣工

H32年2月



## 3 建設計画策定時の課題

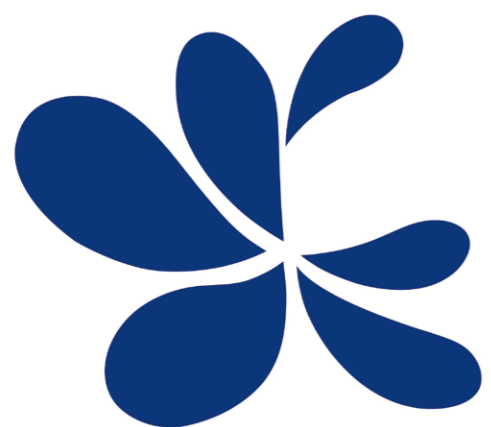
- ① 庁舎建設時期の説明及び理解
- ② イニシャル・ランニングコスト、財源など経済的合理性の説明
- ③ 公共建築が地域建築物の省エネ・創エネ設備導入モデルとなり、低炭素社会を実現化していくことの必要性の理解
- ④ ZEBの認知度の低さからくる高効率機器導入の合意形成

### 問い合わせ先

開成町行政推進部財務課管財担当

Tel: 0465-84-0322

E-mail: zaimuka@town.kaisei.kanagawa.jp



# 高島市市庁舎 ZEB化に向けた取組

## 1 高島市の概要

- 位置** 滋賀県(琵琶湖)の北西部
- 人口** 49,838人、20,437世帯(H29.9.30現在)
- 面積** 693km<sup>2</sup>(うち琵琶湖の面積181.64km<sup>2</sup>)
- 気候** 積雪量の多い日本海側気候、  
晩秋には「高島しぐれ」と呼ばれる降雨がしばしばある。
- アクセス** 京都駅からJR湖西線新快速で新旭駅まで45分



## 2 高島市新庁舎の概要

### コンセプト

「高島の豊かな自然をつなぐまちづくりの拠点整備」を基本コンセプトとし、機能面や環境面に配慮した安全安心な庁舎とする。

### 環境配慮

高断熱高気密と水平庇・Low-e等複層ガラス窓の日射遮蔽により熱負荷を徹底して削減し、自然採光、自然通風、井水熱利用、太陽光発電など自然エネルギーを積極的に活用している。

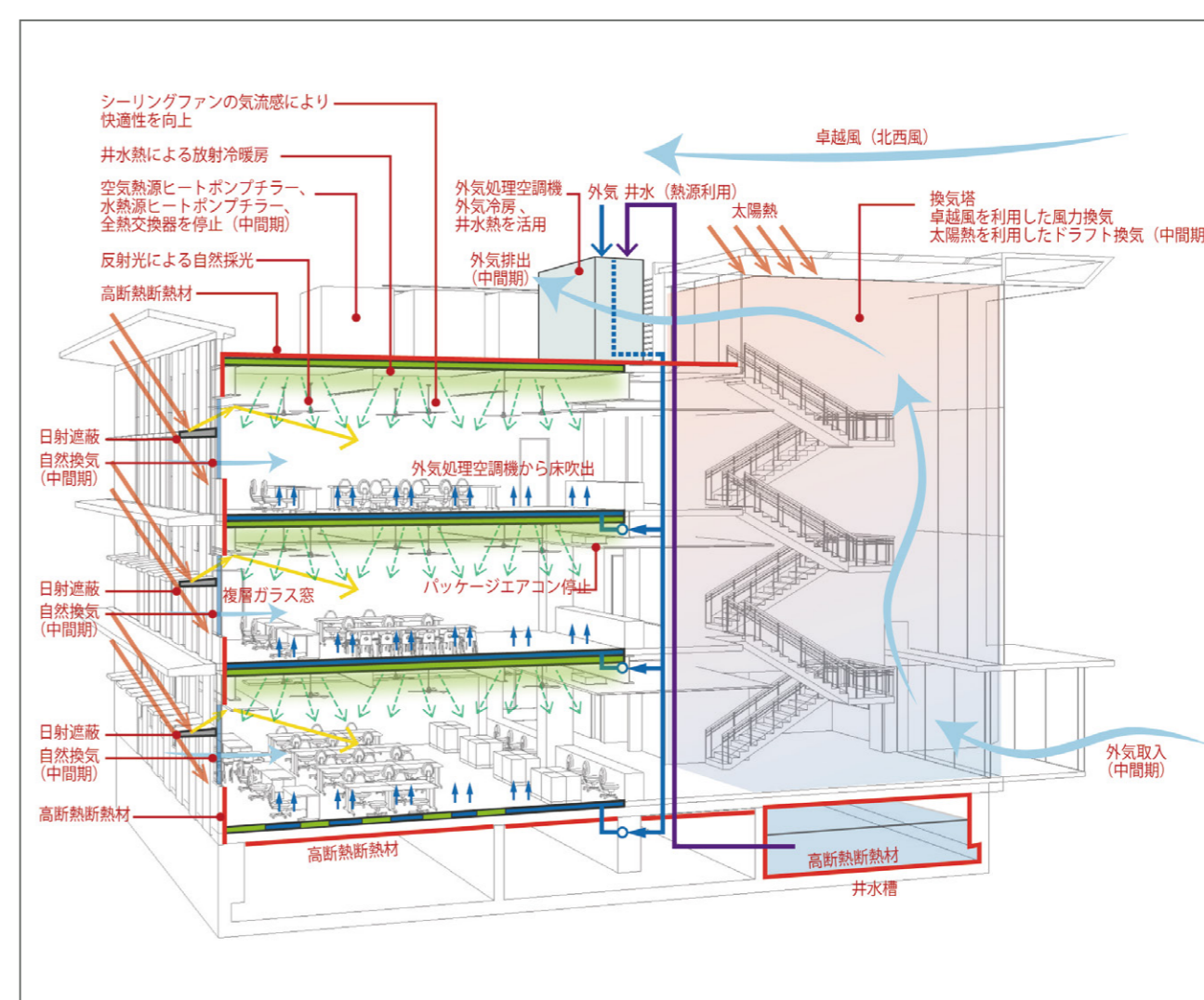
また、井水による躯体スラブ放射冷暖房システム、CO<sub>2</sub>濃度による外気取入量制御、全熱交換器、照度センサー制御LED照明など最新の省エネルギー技術を導入している。

### 整備期間

- 2017年8月～2018年8月で新棟を増築
- 2018年9月～2019年3月に既存棟を改修して新庁舎が完成する予定



外観パース



## 3 建設計画策定時の課題

設計内容への住民からの意見

基本設計案に対しパブリックコメントを実施した結果、多くの市民から設計案で進めるよう意見があった。一方、トータルコストを十分検討した庁舎整備になるよう要望もあった。

予算化にあたっての議会への対応

議会には丁寧な説明を行ったうえで、庁舎関連予算が議決された。

問い合わせ先

高島市総務部行財政改革推進局財産管理課

Tel: 0740-25-8112(直通)

E-mail: zaisan@city.takashima.lg.jp